

## 「平成23年度第3回富県宮城推進会議」会議録要旨

日 時：平成24年3月23日（金） 午後1時30分～2時20分

場 所：宮城県行政庁舎4階 特別会議室

出席団体：資料名簿のとおり

### 1 開会（司会：宮城県経済商工観光部富県宮城推進室 松田室長）

### 2 あいさつ

#### 宮城県商工会議所連合会 鎌田会長〈会長〉

- 年度末のお忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。
- 東日本大震災の発生から1年が経過した。ここにお集まりの皆さんは、震災以降それぞれの立場で、復旧・復興に向け心血を注いで陣頭指揮を執られてきたものと推察する。富県宮城推進会議の会長として厚く御礼申し上げる。
- 本県の経済状況を見ると震災関連需要の押し上げ効果もあり、回復の動きが広がってきているが、依然として沿岸部を中心になお厳しい状況が続いている。
- また、今後の国内外の経済状況もエネルギーの問題やTPPへの的確な対応など大変厳しい状況が予想される。このような中で本県産業の早期復興を果たしていくためには、産学官が連携して共に取り組んでいくことがますます重要になる。
- 昨年11月に東北経済連合会、東北大学、仙台市、宮城県の4者が一致協力して産業復興に取り組むこととした「東日本大震災からの産業復興に向けた産学官共同宣言」や官民が一体となって実施する「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」など、産学官が協力して取り組む動きが既にあるが、今後更にこうした取組が数多く出てくることが復旧・復興への動きを後押しするものと考えている。引き続きの御協力をお願いする。
- 本日の会議は、県からこれまでの復旧・復興に向けた取組、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画案」についてや来年度予算等の説明を受けたのち、各委員から情報提供等をしていただく。
- 委員相互の情報交換等により有意義な会議となることを期待して私からの挨拶とさせていただきます。

#### 宮城県知事 村井嘉浩

- 本日は忙しい中、出席を賜りありがとうございます。
- 皆さんの知恵をお借りして昨年震災復興計画を策定することができた。今後10年間の復興の道筋を示す計画である。これは昨年3月11日からカウントするので残り9年の計画となる。被災者の皆さんは1日でも早くという思いを強く思っているのでもっとしっかりと取り組んでいく。
- この1年間で少しずつではあるが復旧・復興は進んでいる。しかし、地域格差がかなり広がっているというのは事実である。有効求人倍率一つとっても、仙台市や内陸部では1を超えてきている。逆に沿岸部はまだ0.5、気仙沼あたりが一番ひどく0.5を割り込んでいるところもある。
- また、本日全国の土地の公示価格が発表され、先ほどレクチャーを受けたが、全国の中で地価が値

上がりしたベスト10の中に宮城県が7か所入っている。逆に地価が下落した10番以内にも宮城県が3か所入っている。ものすごく地価が上がったところと下がったところがある。本当に地域格差が顕著になってきている。

- 私の目指す富県宮城というのは地域格差をなくして、県土全体を豊にして皆が希望を持って生きる宮城県を創っていくということだ。一日も早く被害の大きかった沿岸部を元気にしていきたい。
- おかげさまで、昨年11月にはトヨタ自動車東北がエンジン工場の建設に着手したほか、先月は太陽電池製造企業の大型投資案件が明らかになるなど投資への弾みもつきつつある。
- また、先月被災県に先駆けて、自動車関連産業など8業種を対象とした民間投資促進特区の認定の受け、次代を担う新たな産業の集積等を推進しているほか、民間の力を最大限活用した仙台空港等の運営委託・空港周辺のにぎわいづくりの検討にも着手するなど従来とは違った手法で宮城を元気にしていきたい。
- これまでみなさんと共に推進してきた「富県宮城の実現」に向けては、「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来の姿を震災を乗り越えながらも実現すべき目標としているところであり、今後とも全力で取り組んでいくので、なお一層の支援と協力をお願いします。
- 本日の会議は、震災後これまでの産業の復旧・復興に向けた県の取組や「宮城の将来ビジョン」と「宮城県震災復興計画」の2つの長期計画の共通の実施計画となる「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（案）」などについて説明する。
- 委員の皆さんには、幅広い見地から御意見等を賜りますようお願い申し上げます、私からの挨拶といたします。

### 3 副会長選出

鎌田会長の推薦で菅原委員（宮城県農業協同組合中央会会長）が副会長に選任される。

### 4 報告

#### （1）産業の復旧・復興に向けた取組について

事務局（河端経済商工観光部長）より資料2に基づき説明  
※質疑等なし

#### （2）宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（案）について

事務局（河端経済商工観光部長）より資料3に基づき説明  
※質疑等なし

#### （3）平成24年度宮城県当初予算等及び「みやぎ発展税」の活用施策について

事務局（河端経済商工観光部長）より資料4に基づき説明  
※質疑等なし

#### （4）復興特区について

事務局（河端経済商工観光部長）より資料5に基づき説明

※質疑等なし

#### (5) みやぎ国際ビジネス・観光拠点化プロジェクトについて

事務局（河端経済商工観光部長）より資料6に基づき説明

※質疑等なし

### 5 その他

#### ※各団体からの情報提供

##### みやぎ工業会 川田会長

- 先ほどの資料2でみやぎ工業会会員の復旧状況が99.4%だったが、復旧の早さに驚いている。自動車関連の一部は今活気を呈しているがほとんどの業種はまだ顧客が戻ってきていない非常に厳しい状況である。先ほど知事の挨拶にもあった、あと9年の計画において、スピードの速さを持ち味にして、雇用・生活基盤・人材の定着などに寄与するのがみやぎ工業会の役割だと考えている。
- 先日NHKで足こぎ車いすについて放送していた。これは県の受託事業「みやぎ優れMONO発信事業」の第2期の認定企業だ。こういう「優れMONO」はどんどん伸びていく。震災前に富県宮城推進事業で進めていたのが助走になって、今大きな役割を担える状態になっている。
- みやぎ工業会も非力で人もお金もないが、何とか立ち上がろうとしている。手伝いいただけるところはぜひお手伝いいただき、オールキャストで、産官学で同じテーブルで一緒に話し合いながら高速で雇用を増やしていくところから始めていきたい。

##### 東北経済連合会 宮城県経営者協会 高橋会長

- 東経連とともに東北観光推進機構会長として申し上げる。観光による被災地復興支援を考えている。復興ツーリズムとして、観光客に被災地を訪問してもらい、被害や生活の様子を見、防災対策や災害対策を学んでもらう。それで、被災地を活性化させ、復興につなげるということを考えている。県内の関係者と連携を図り進めてまいりたい。
- 宮城県経営者協会会長として申し上げると、震災からの復興ということで、被災者の生活再建やインフラ整備などはいろいろ実施されている。その反面、労災やメンタル面の不調が顕著に出てきている。特にメンタルヘルスの方は、宮城県経営者協会の調査では、震災前と比べて不調者が増えたと答えた企業が2割もある。転落などの労災も増えている。このような面について対策を充実させていって欲しい。

#### ※事務局から来年度のスケジュールについて

##### 事務局（松田室長）

- 平成23年度は幹事会を開催しなかったが、平成24年度については例年どおり幹事会、推進会議とも開催する予定。委員の皆様には改めて連絡する。

### 6 閉会